



2006年12月期 中間決算概要

2006年 8月2日(水)

株式会社 大塚商会
代表取締役社長 大塚裕司

2006年12月期 中間決算の概要

(単位：百万円)

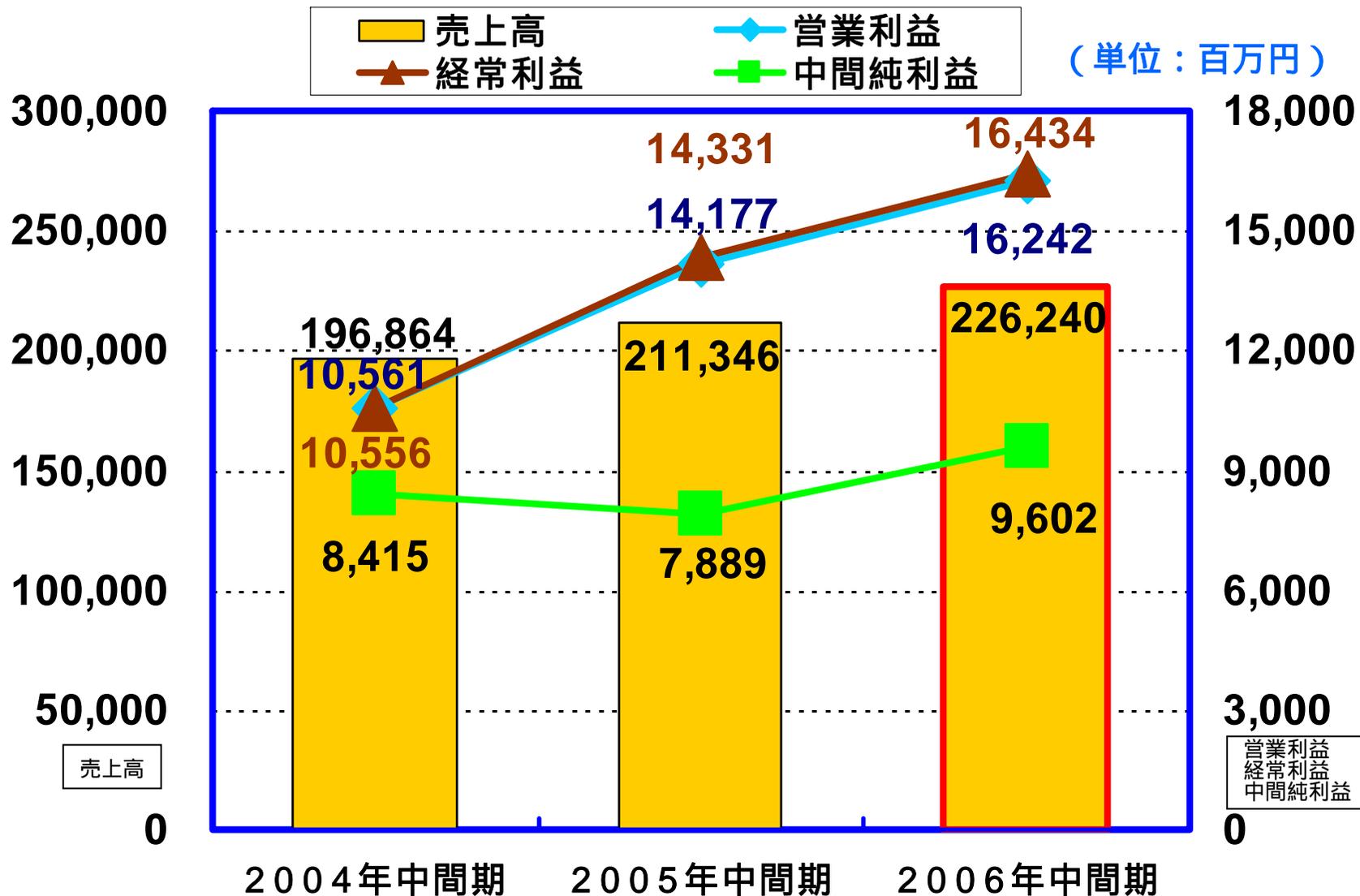
	連 結			単 体		
	金 額	計画比	増減率	金 額	計画比	増減率
売 上 高	226,240	101.5%	+7.0%	210,672	101.2%	+7.1%
営 業 利 益	16,242	107.4%	+14.6%	14,997	110.8%	+15.7%
経 常 利 益	16,434	107.7%	+14.7%	15,347	110.3%	+15.6%
中間純利益	9,602	114.2%	+21.7%	9,126	116.7%	+23.3%

連結子会社の概要

セグメント	会社名	事業内容	社員数 (名)	2006年中間期 売上高(百万円)
システムインテグレーション	(株)OSK	・パッケージソフトの開発、販売	217	2,484
	(株)ネットプラン	・電気通信工事及び内装工事	72	3,166
	(株)アルファシステム	・受託ソフト・パッケージ開発およびERPコンサル事業	134	818
	(株)ネットワーク	・ネットワーク関連製品の販売・技術サポート	230	15,747
	(株)テンアート二	・Java・Linux関連の製品開発及び企業情報システムの構築	167	2,375
	大塚資訊科技(股)有限公司	・CAD/CAMソリューションの販売	78	652
サービス&	(株)アルファテクノ	・パソコン・周辺機器の修理、廃棄、データ復旧サービス	255	3,181
	(株)アルファネット	・ネットワークシステムのサービス・サポート全般	322	2,225
その他	(株)富士見建設	・建設工事、ビル保守・管理	22	1,422
	大塚オートサービス(株)	・自動車販売・整備・板金、保険代理店業	28	402
	(株)大塚ビジネスサービス	・DM作成・発送代行、情報管理・処理、HP作成代行	23	389

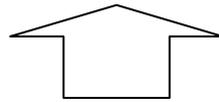
連結

売上高・利益の状況



外部環境

企業のIT投資が引き続き堅調に推移



景況感改善や堅調な企業業績を背景に、設備投資が増加

ITを活用した経営改革ニーズの高まり

法制面からの要請

システムのアップグレードやインフラの見直し

情報セキュリティ対策の強化

当社グループの取り組み

「SPR」の進化と徹底活用

提案力アップ、効率的営業活動をさらに推進

複合提案・総合提案による競争力の向上

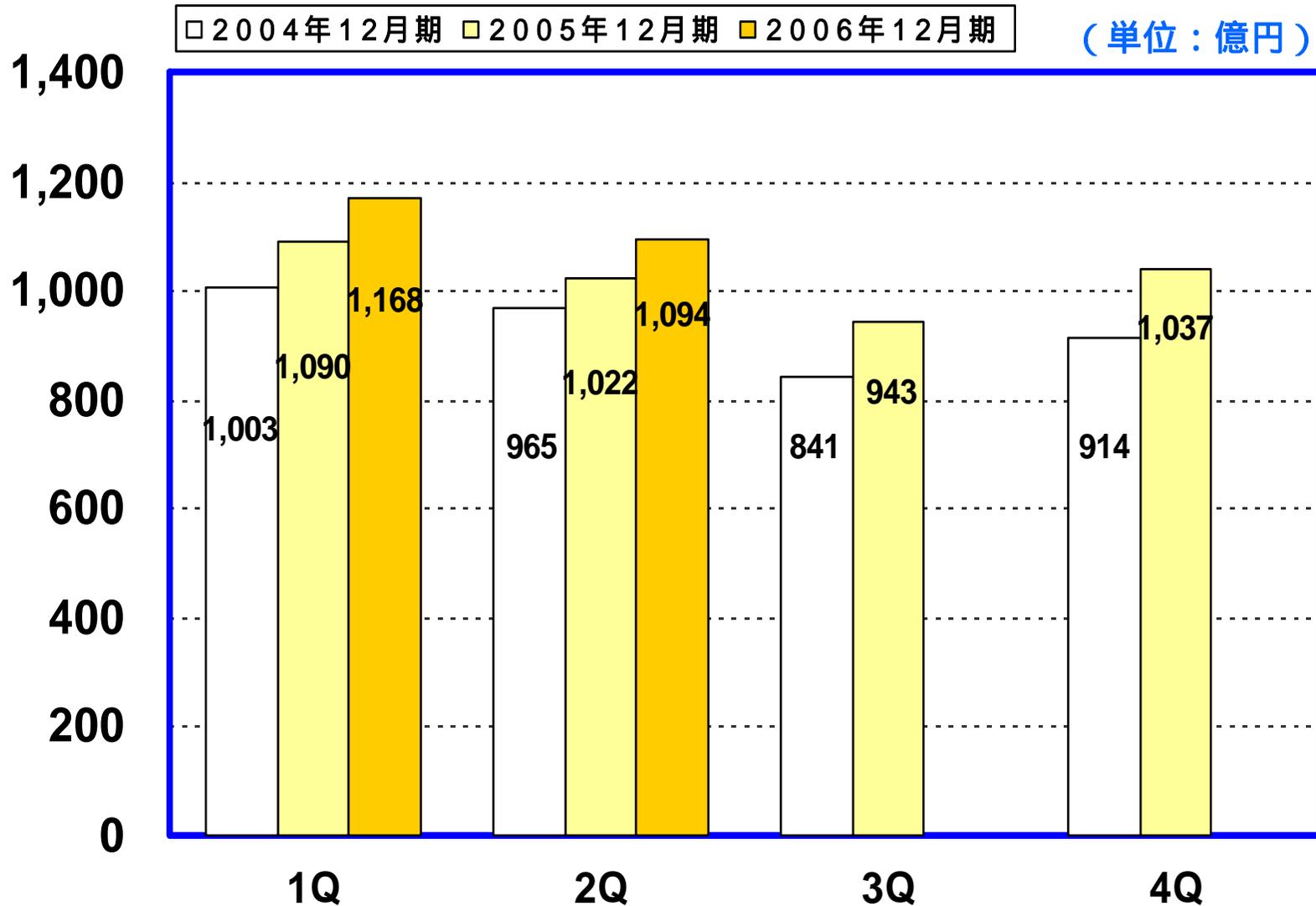
脱価格競争・顧客単価アップ

「たのめーる」による新規顧客開拓効果

「営業支援センター」による営業活動の効率化

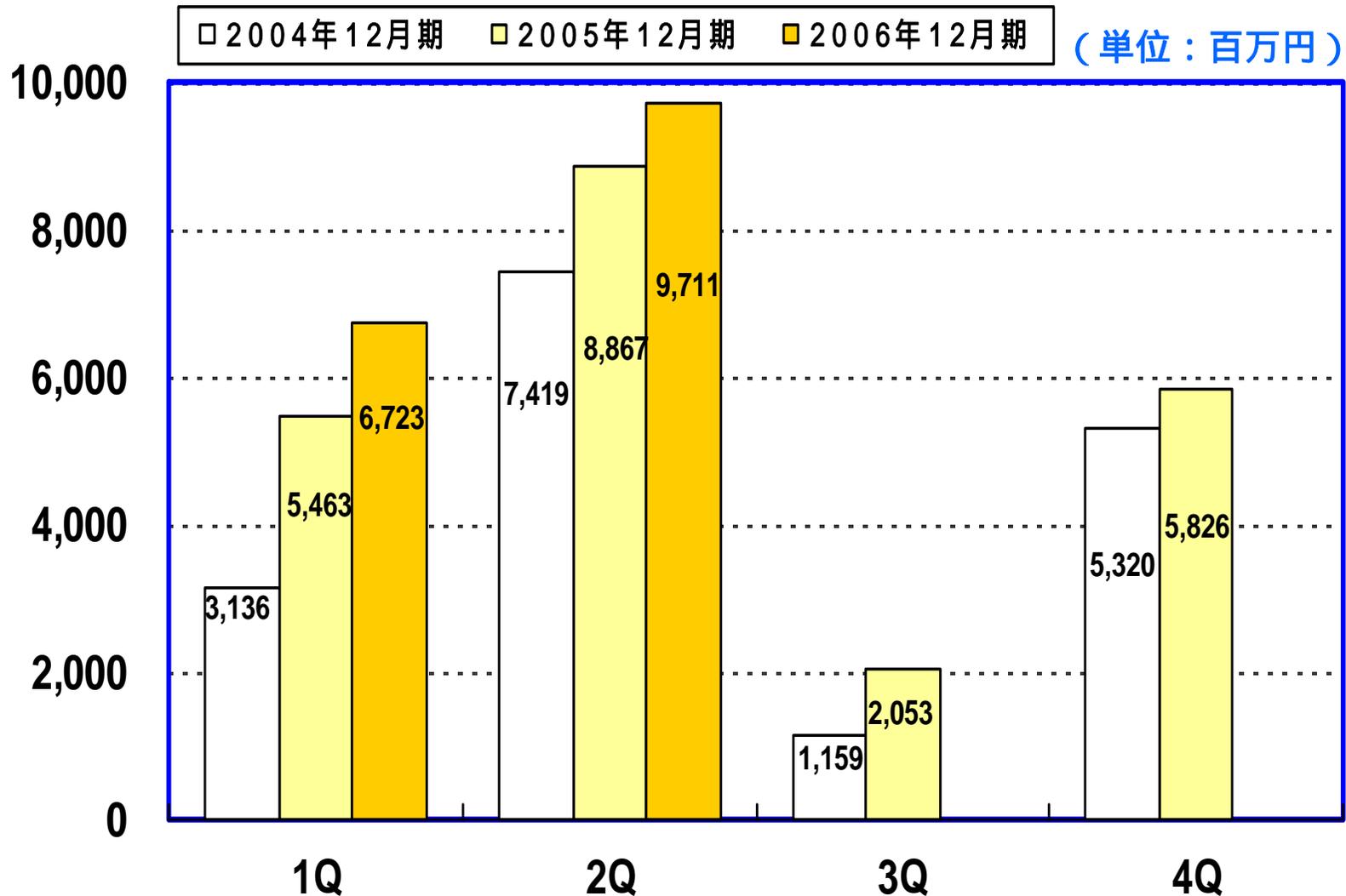
連結

売上高の四半期推移



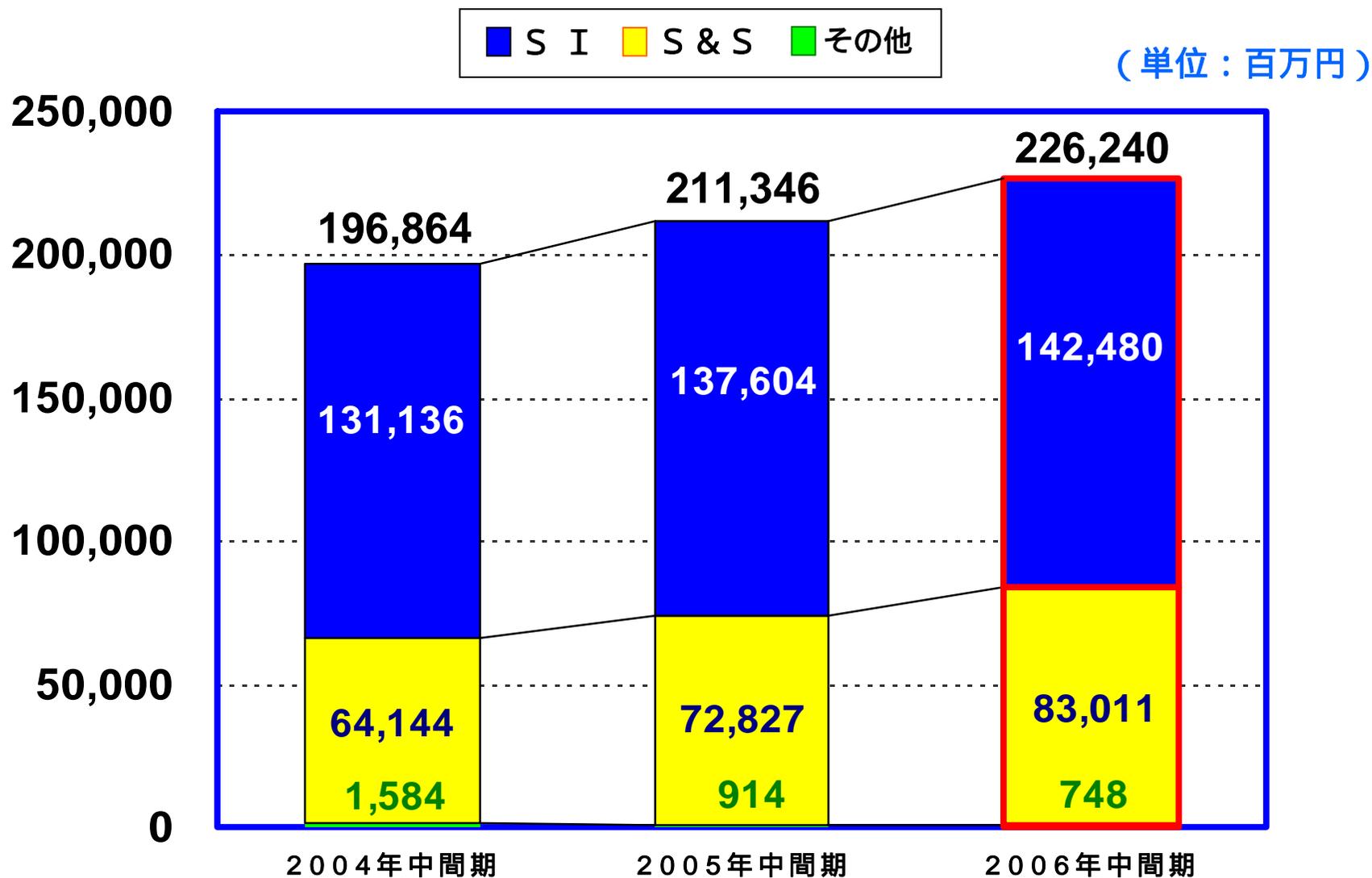
連結

経常利益の四半期推移



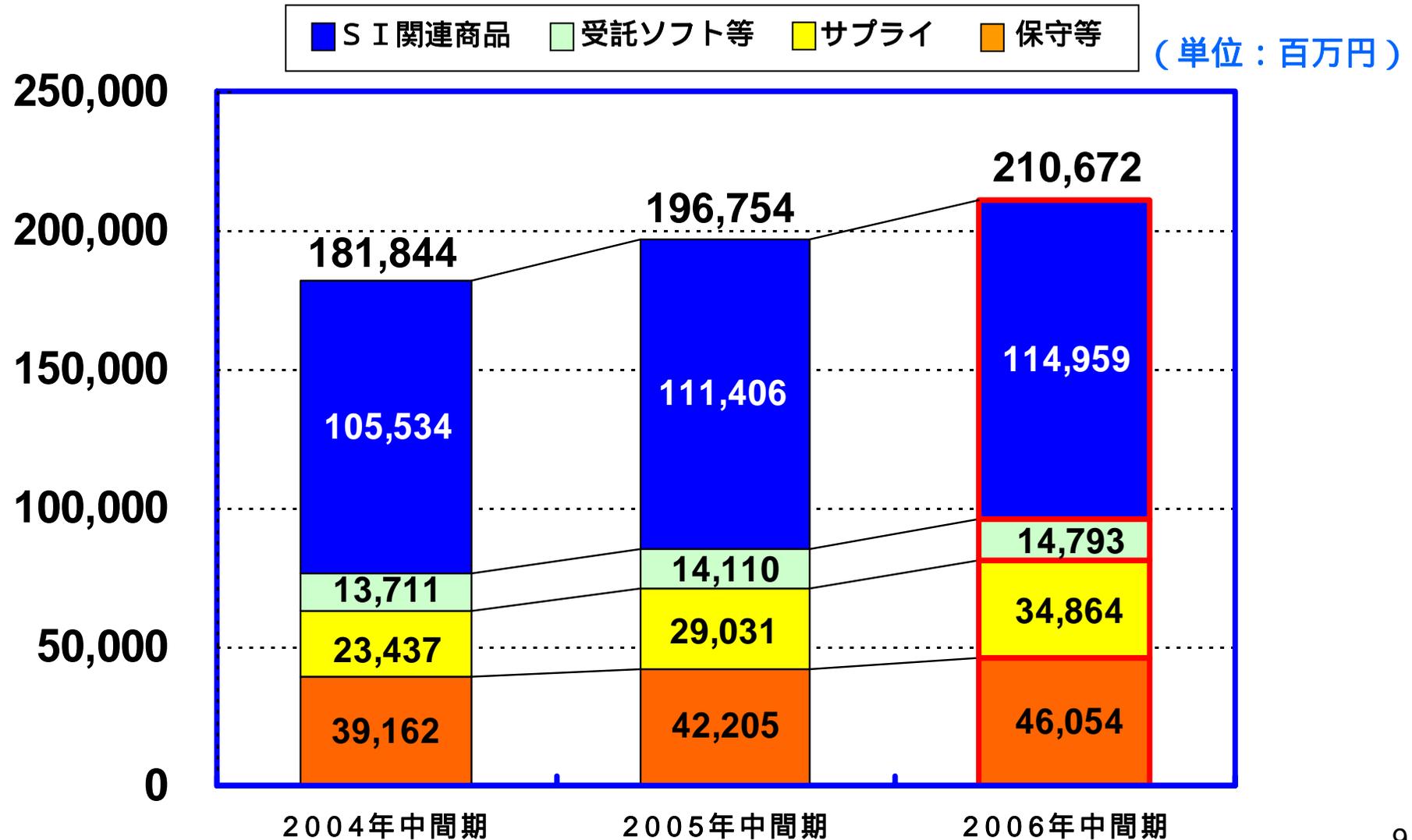
連結

セグメント別売上高



単体

詳細セグメント別売上高



連結

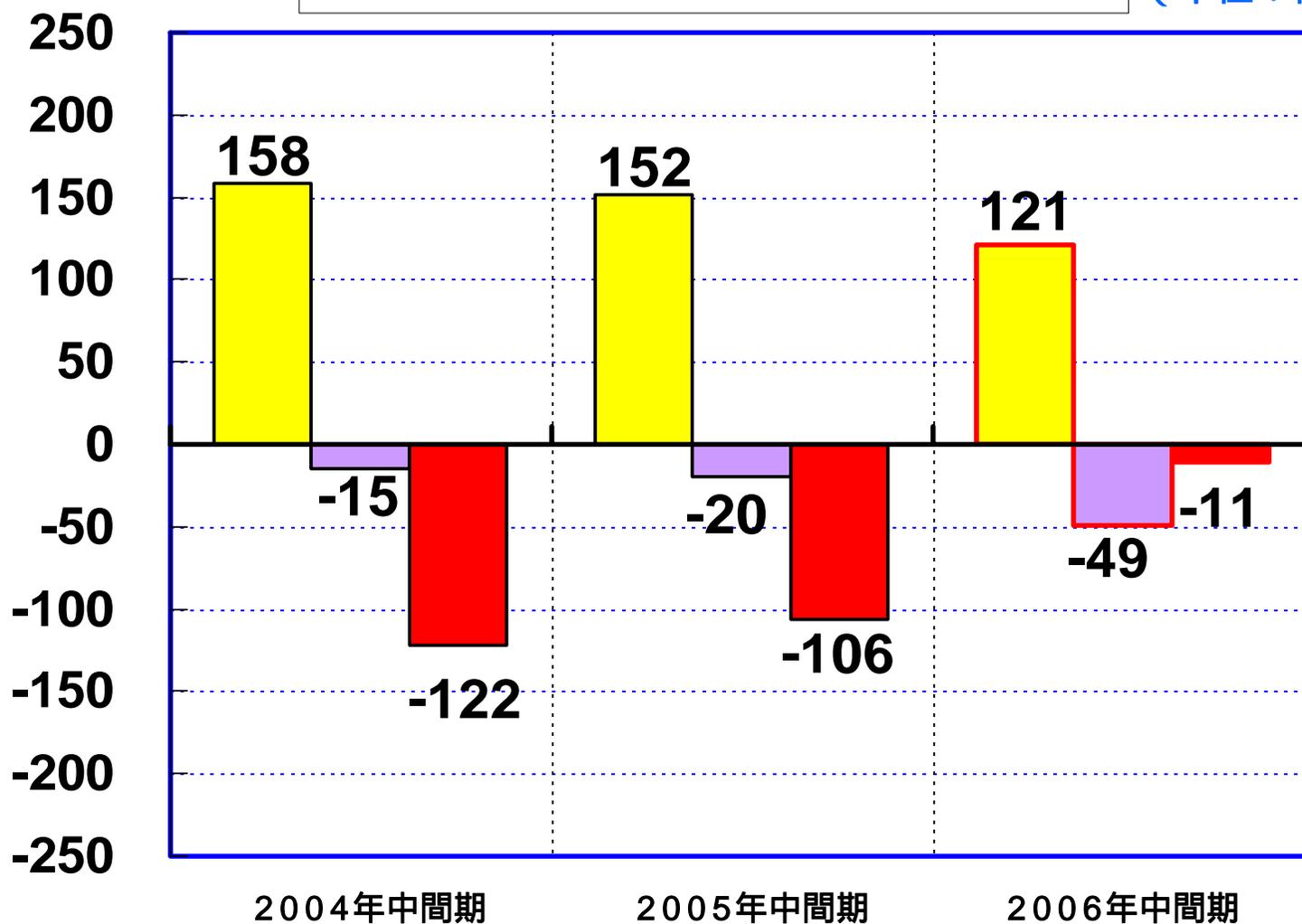
キャッシュ・フロー

■ 営業C/F

■ 投資C/F

■ 財務C/F

(単位：億円)



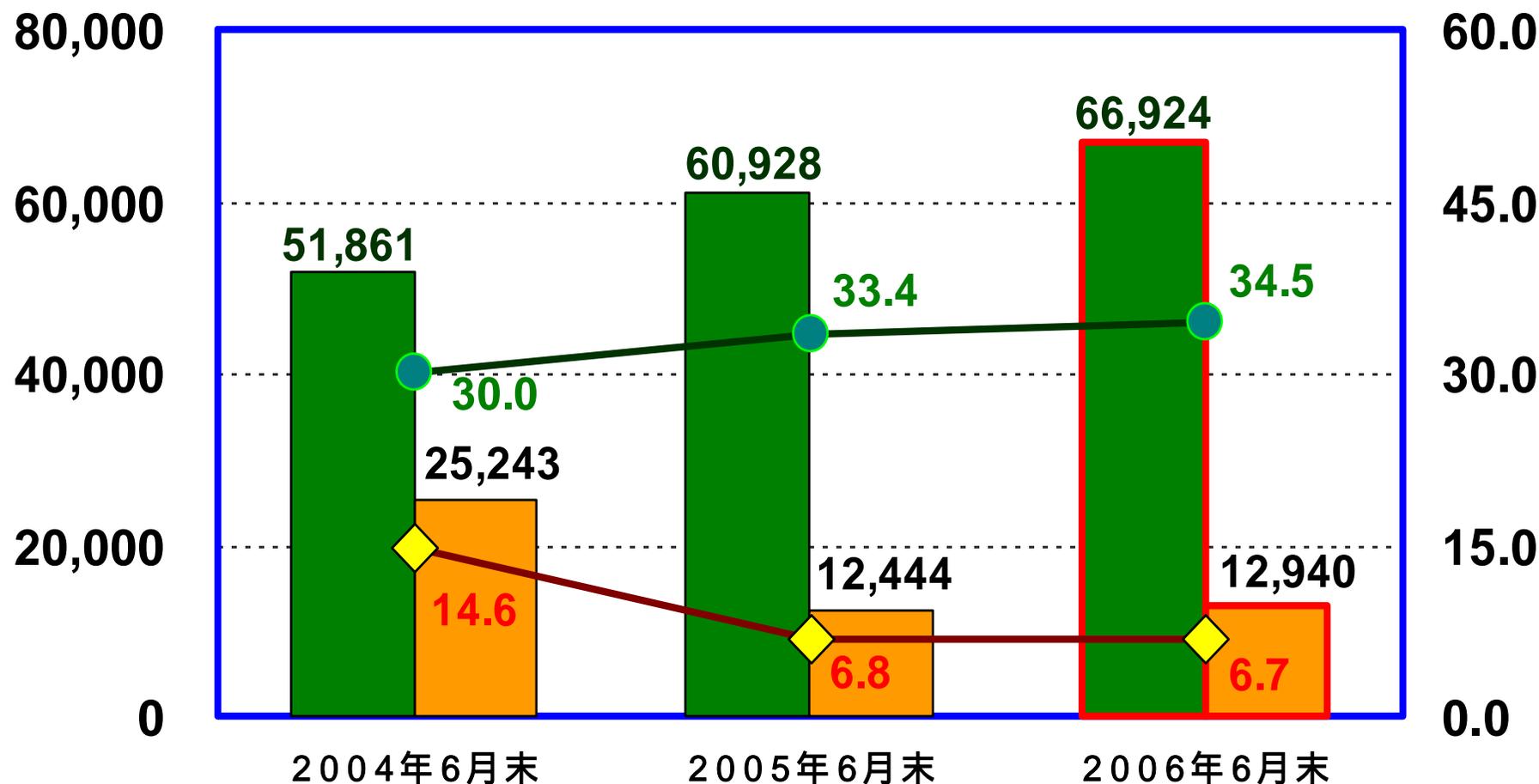
連結

自己資本と有利子負債

(単位：百万円)

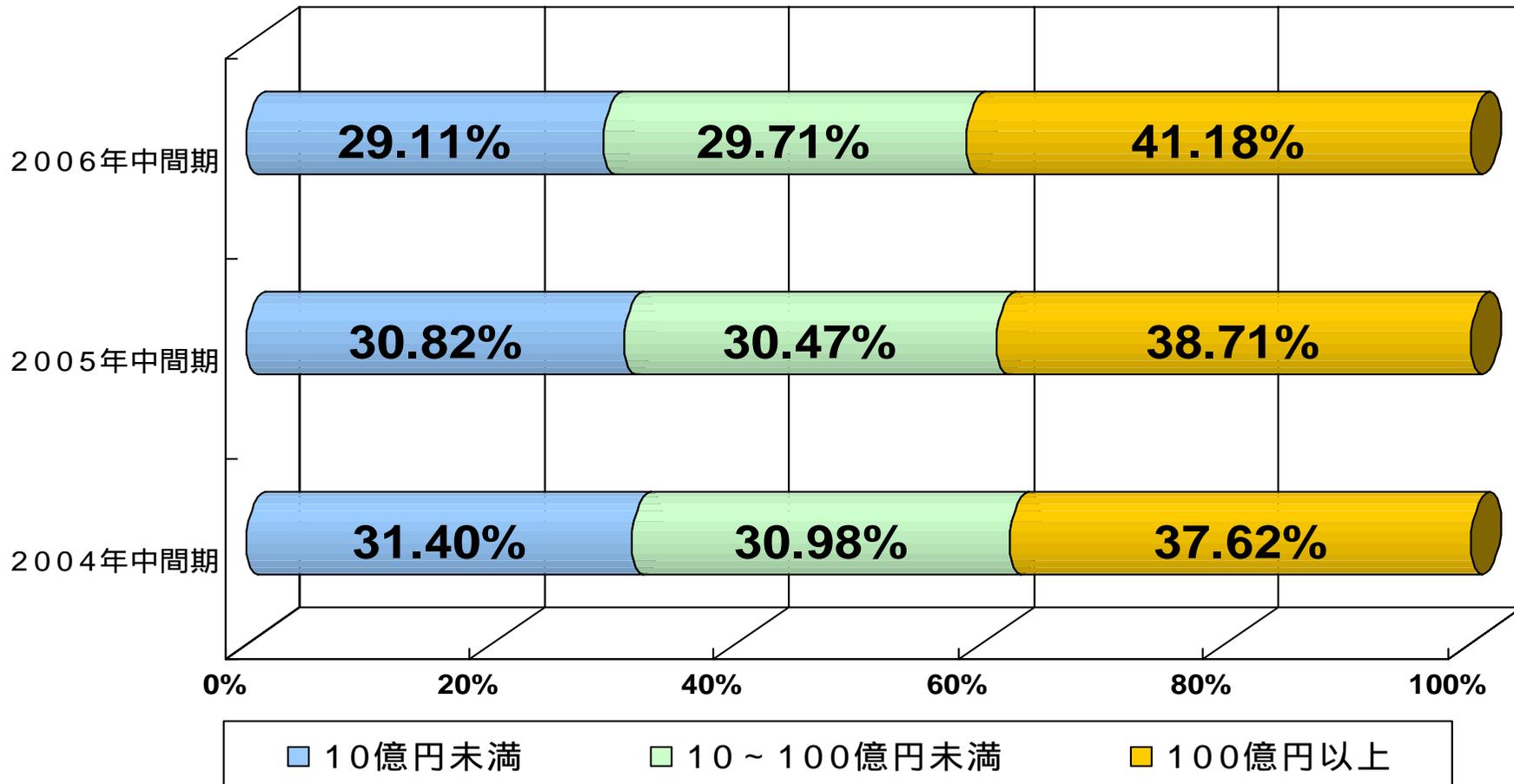


(単位：%)



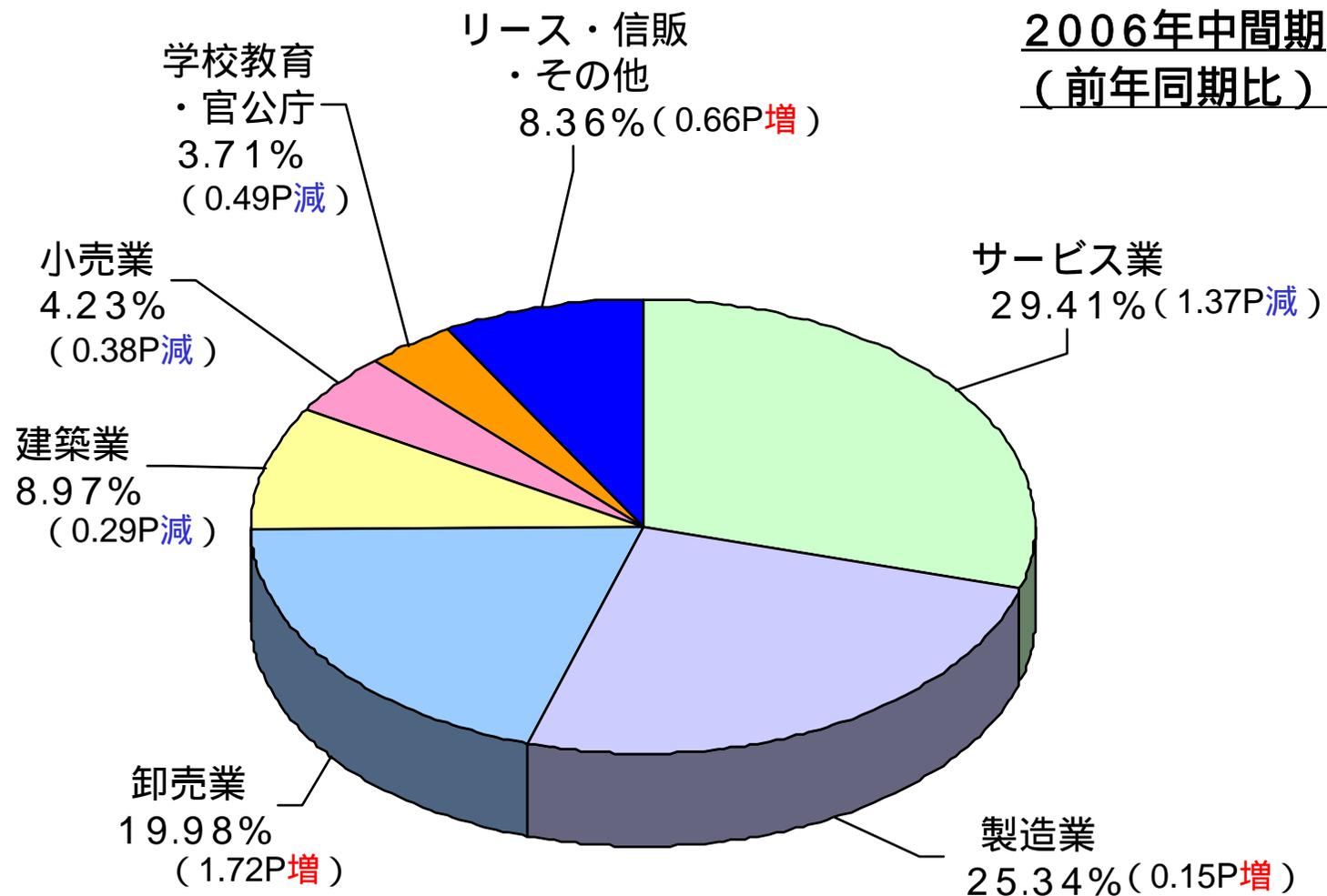
単体

顧客企業の年商別売上構成



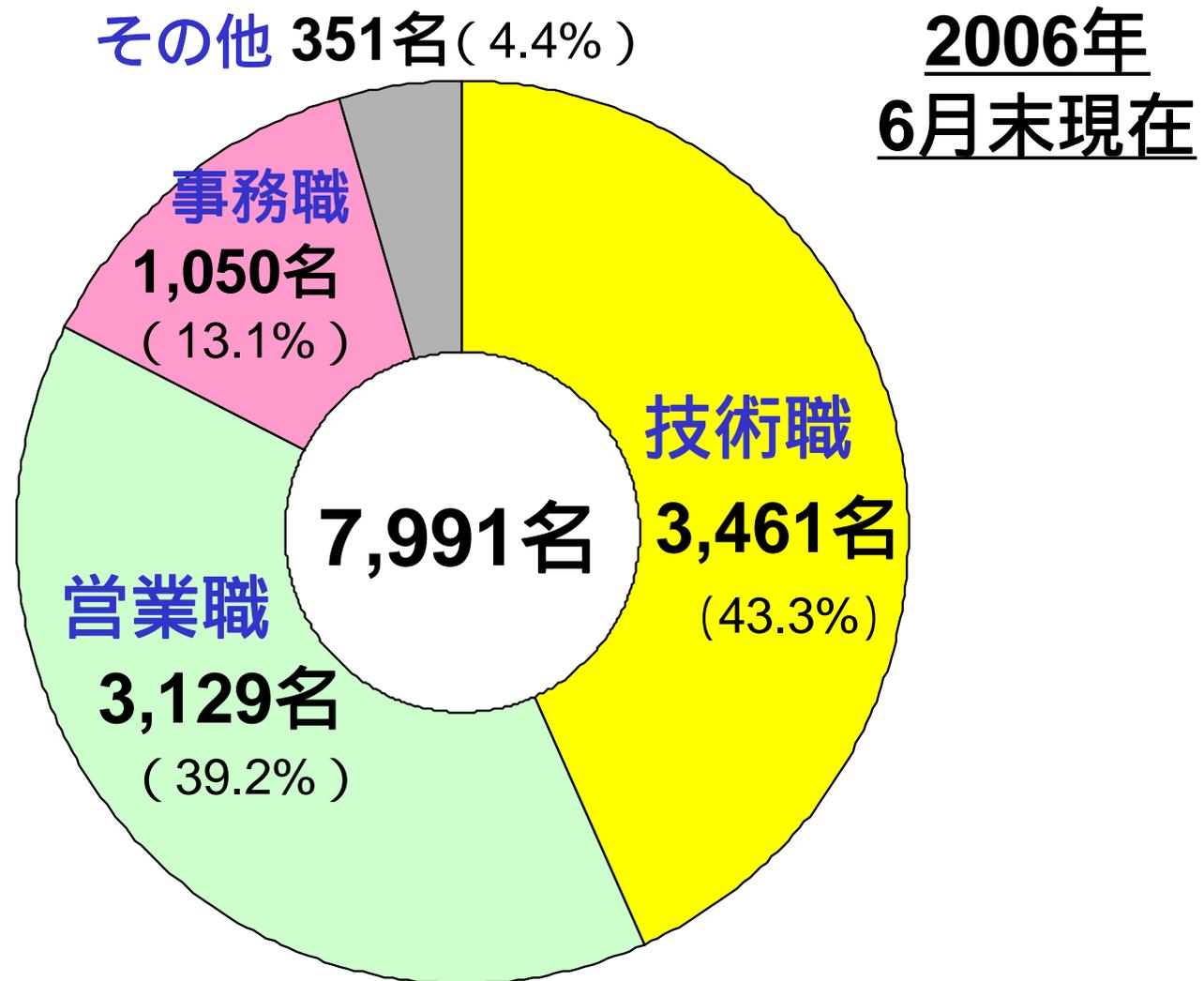
単体

顧客企業の業種別売上構成



連結

正社員の職種別人員構成



単体

重点戦略事業の状況

< 売上高 >

(単位：百万円)

	2004年 中間期	2005年 中間期		2006年中間期		
	金額	金額	増減率	金額	増減額	増減率
M R O	25,060	30,930	+23.4%	37,153	+6,222	+20.1%
S M I L E (ソフト+保守)	6,125	7,298	+19.1%	9,094	+1,796	+24.6%
O D S 2 1	13,560	18,191	+34.1%	18,455	+264	+1.5%
O S M	4,400	9,305	+111.5%	13,454	+4,148	+44.6%

< 販売台数 >

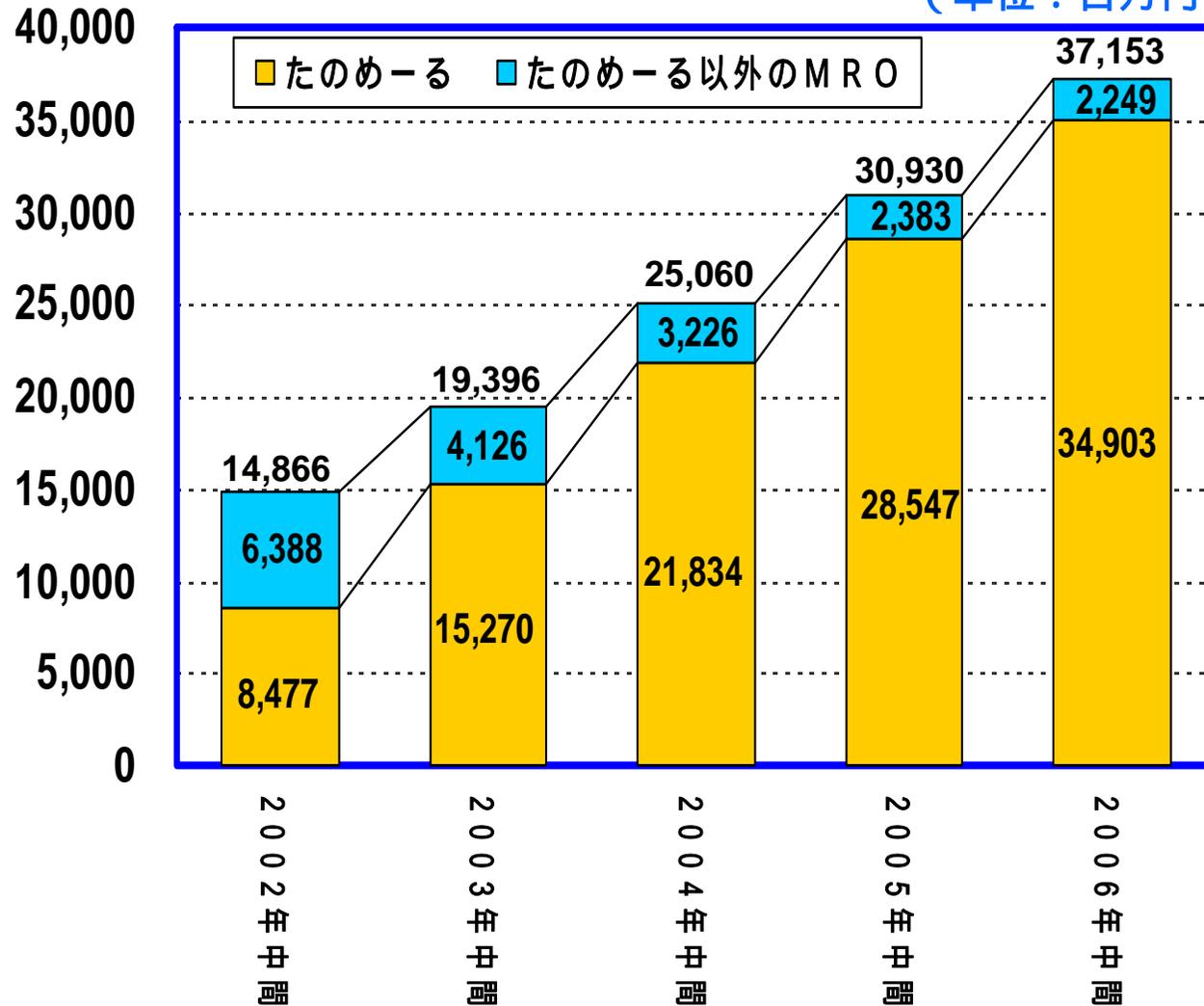
(単位：台)

複写機	16,228	17,266	+6.4%	17,303	+37	+0.2%
(内カラー複写機)	7,757	9,083	+17.1%	10,287	+1,204	+13.3%
サーバ	13,087	15,908	+21.6%	18,739	+2,831	+17.8%
パソコン	231,941	273,139	+17.8%	283,794	+10,655	+3.9%

単体

MRO事業の売上高推移

(単位：百万円)



2006年中間期
売上高前年増減率

MRO事業 20.1%増

たのめーる 22.3%増

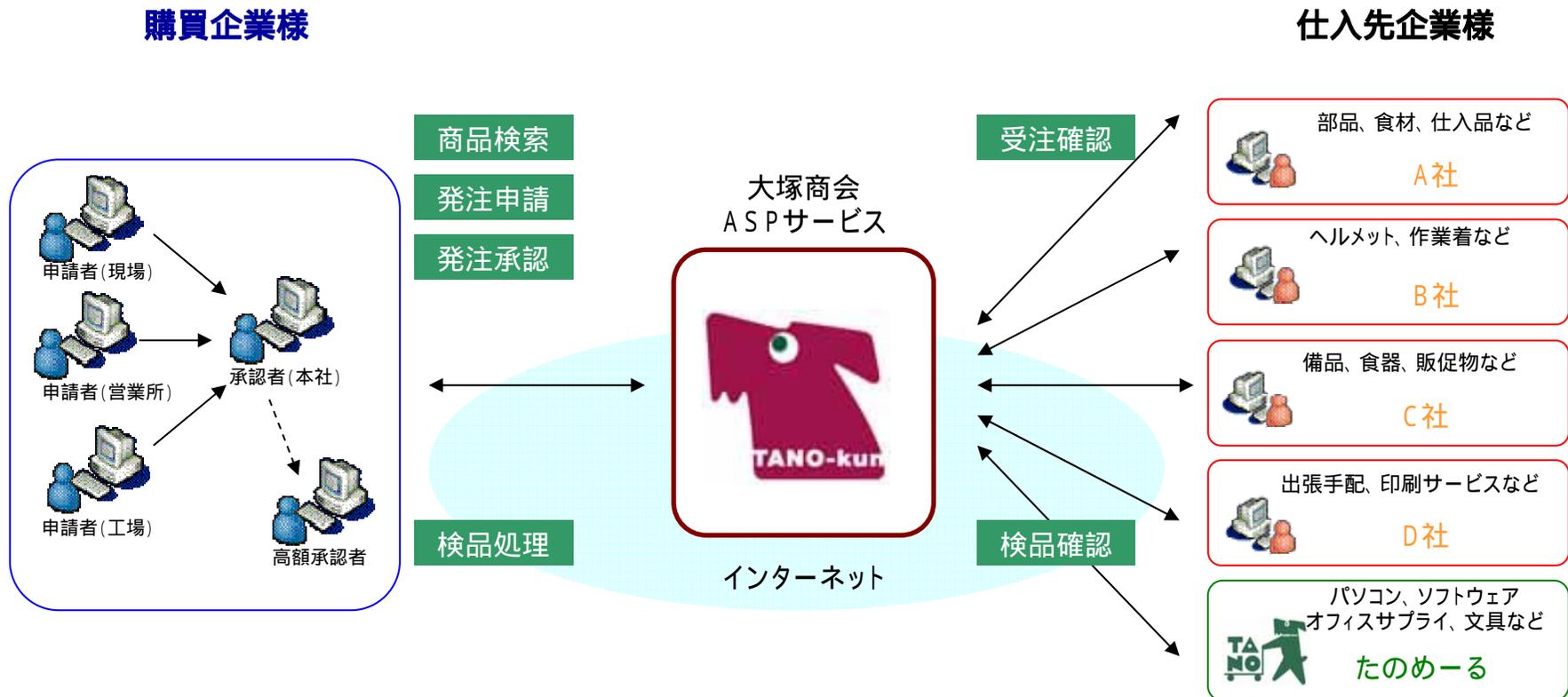
MRO内たのめーる比率
93.9%

MRO事業
370億円

たのめーる
340億円

たのめーるプラス

購買企業様の調達業務をASPでサポート



中期目標と活動方針

< 基本方針 >

- ・ ミッションステートメントの具現化によりお客様と共に成長する

< 中期計画 >

- ・ 人員計画は基本的に横ばいを継続
- ・ 増収・増益による業容拡大を図る
営業利益率・経常利益率ともに6%台を目指す
- ・ 顧客資産データの活用で需要を開拓
- ・ 人物金の効率活用で@生産性向上

「SPR」の活用浸透

SPR: Sales Process Re-engineering の略称

当社独自開発の CRM + SFA システム
(顧客管理) (営業支援)

お客様のプロフィールを正確に知る

お客様との取引履歴（過去）を知る

お客様への提案状況（現在）を知る

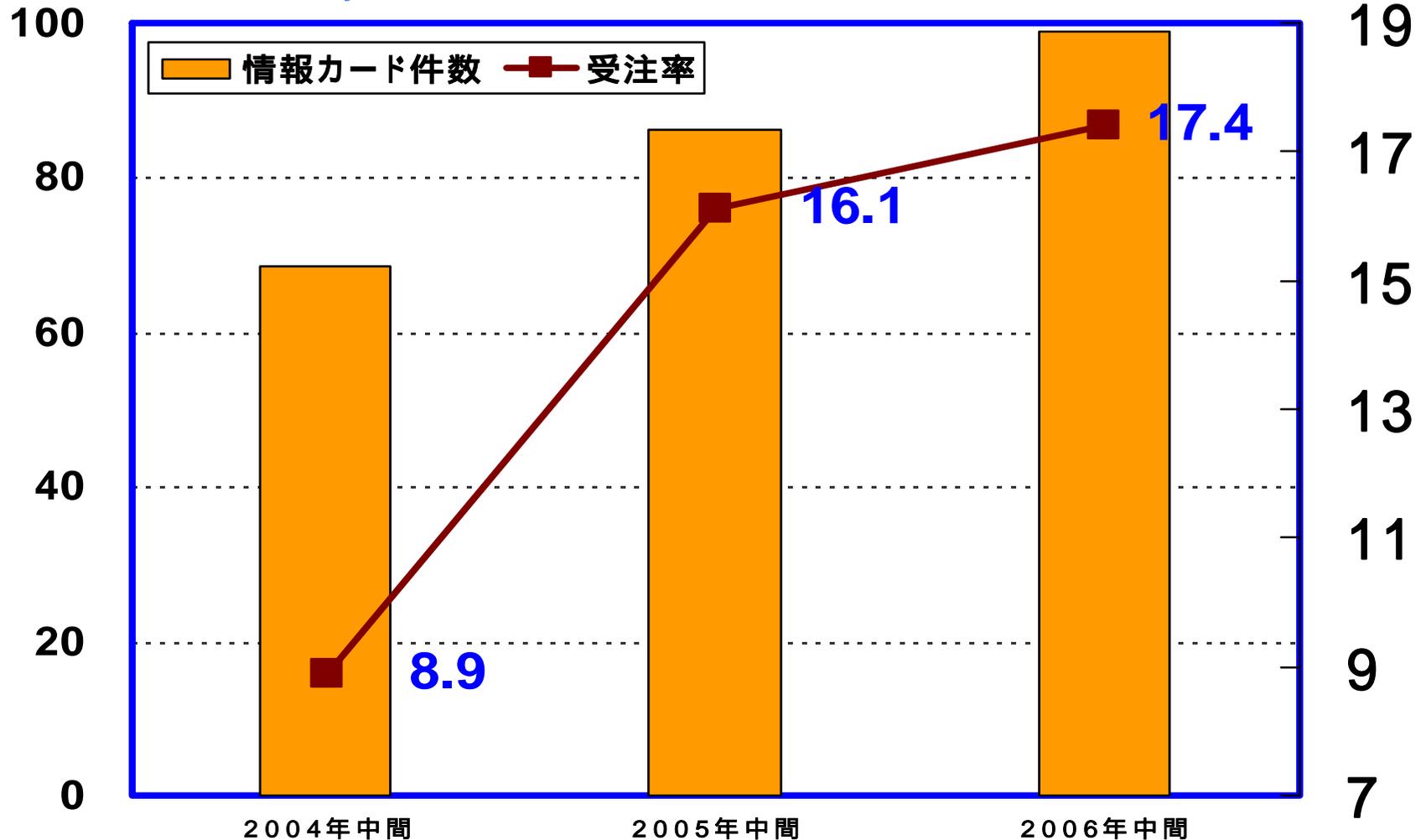
お客様の要望・ニーズ（未来）を知る

科学的営業でCS向上と効率アップを同時に実現

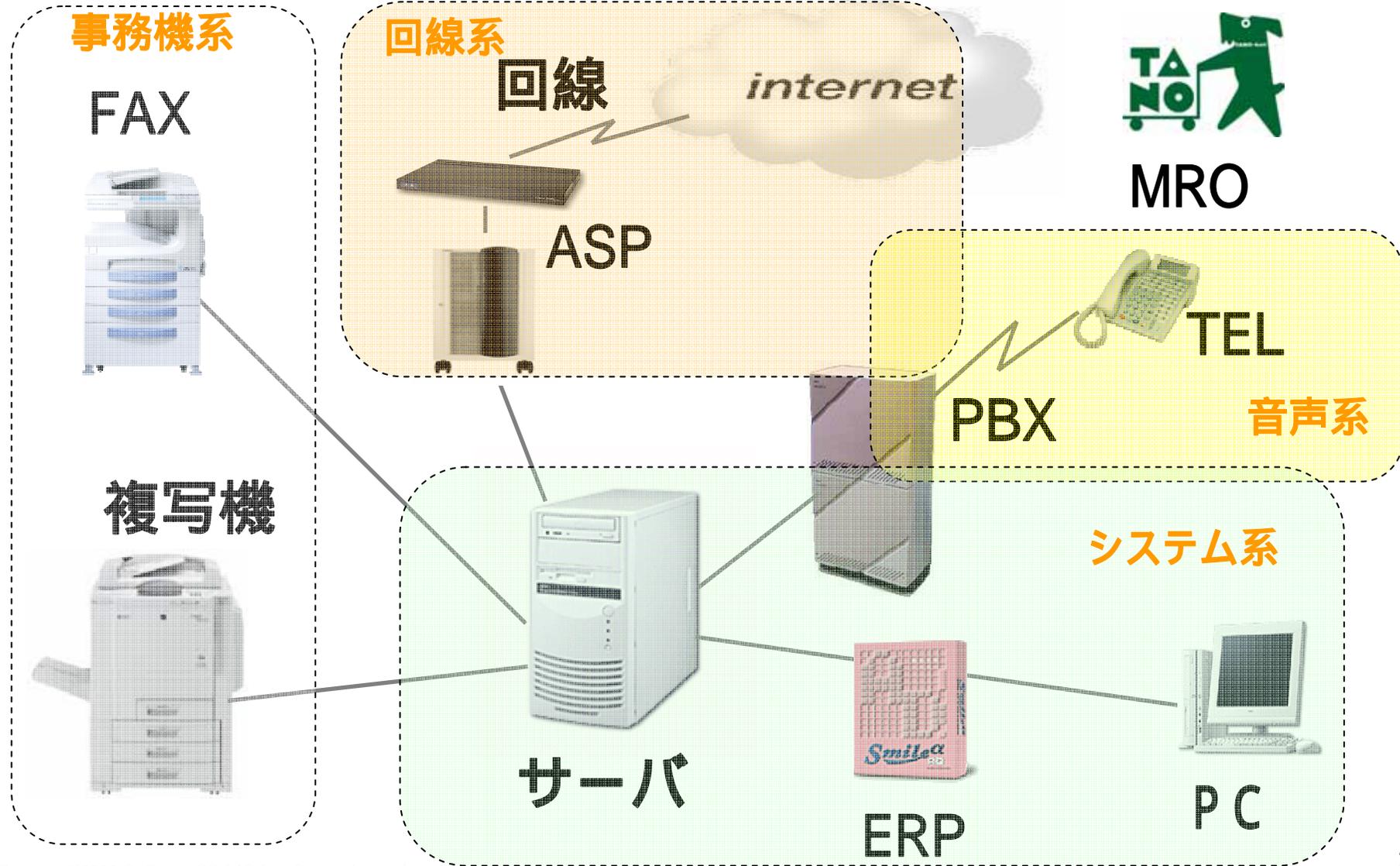
情報カード件数、受注率

(情報カード件数：千件)

(受注率：%)



ITワンストップサポート



サービス&サポート事業の再構築

『たのめーる』 『たよれーる』
2つのブランドに集約・再構築

たのめーる TANO-MEER TA NO MEER

・ サプライ

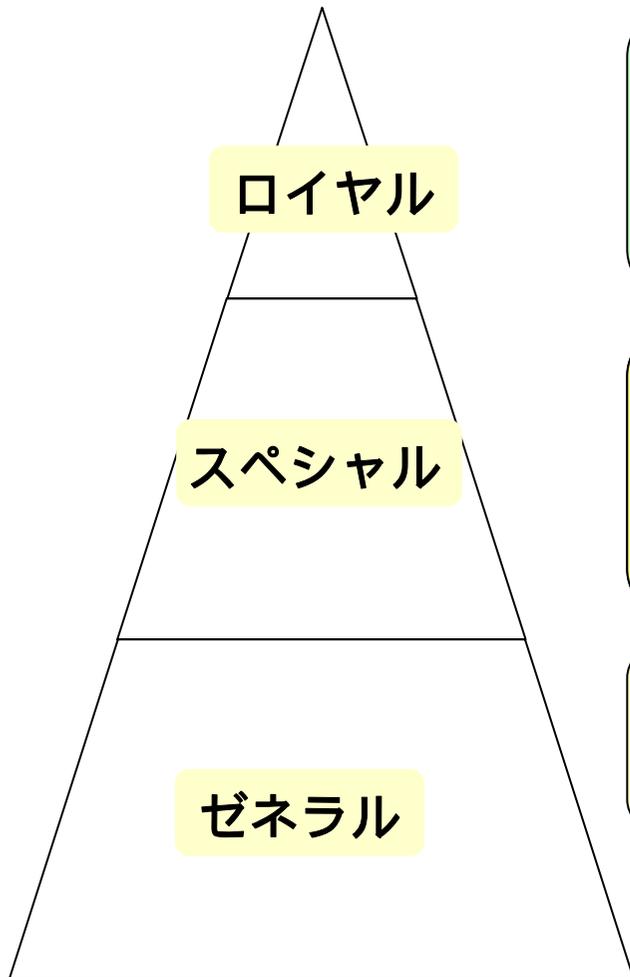
たよれーる



- ・ 保守
- ・ 運用支援
- ・ 教育
- ・ 調達支援
- ・ 業務代行など

最適なサポート

顧客セグメント



サポート体制

One-to-Oneでのサポート体制構築

特定顧客のサポートライフサイクルを実現

企業丸ごとサポート

ITサポート
ライフサイクルマネジメントサービス
《おたすけくん》

サイト単位で丸ごとサポート

《おたすけくんJr.》

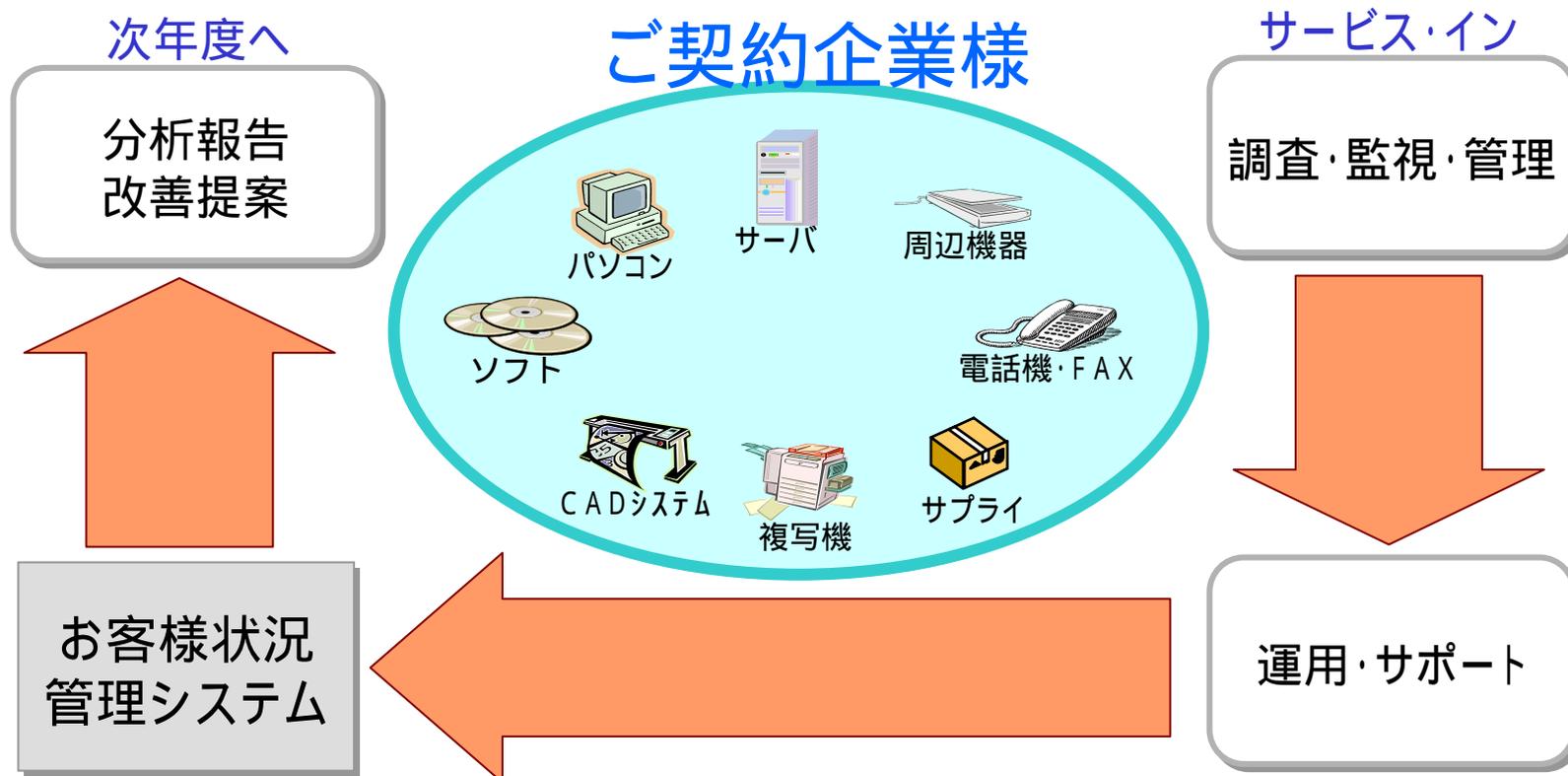
Webサポートの強化

「おたすけくん」



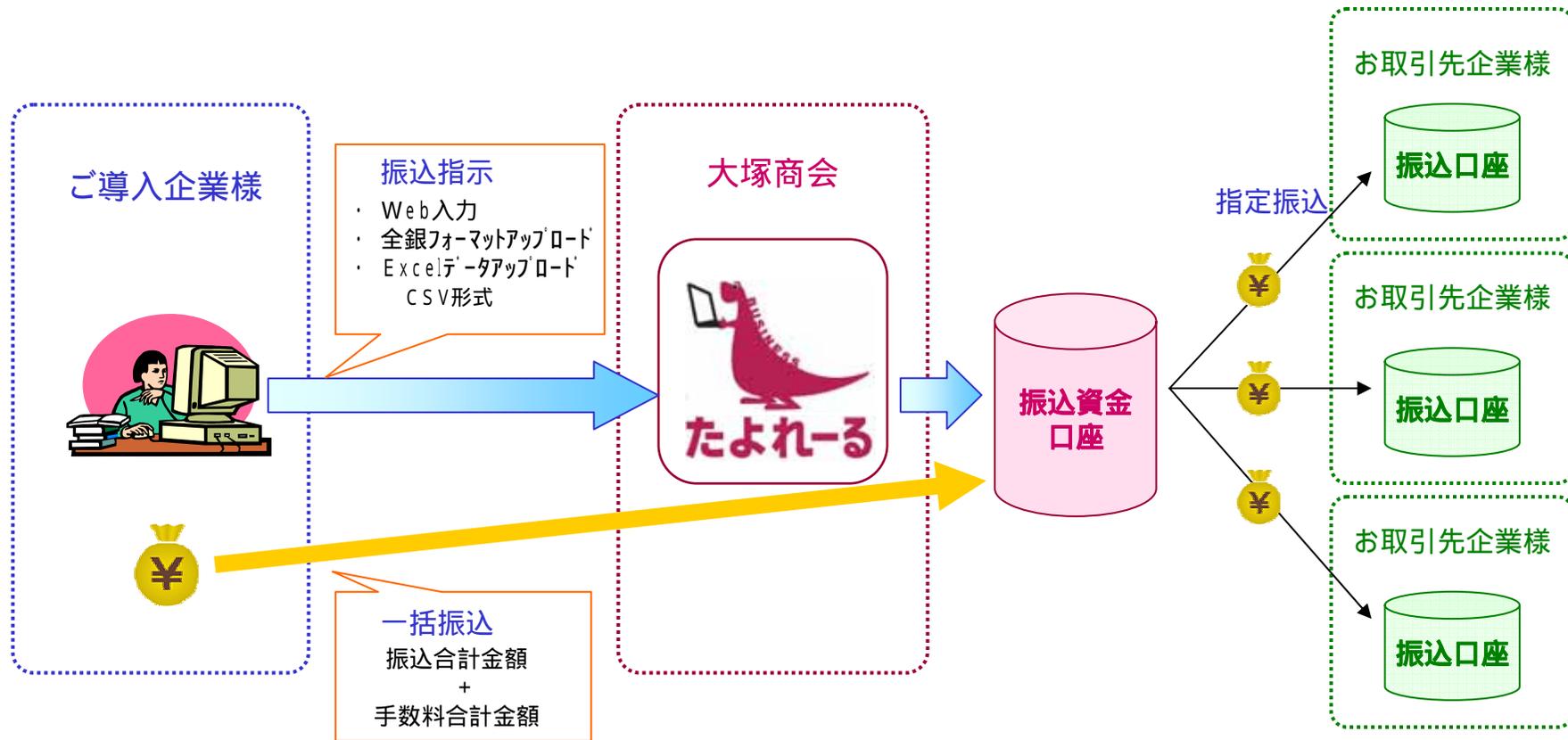
ITサポート ライフサイクル マネジメント

IT活用のライフサイクル全般を、ワンストップでサポート

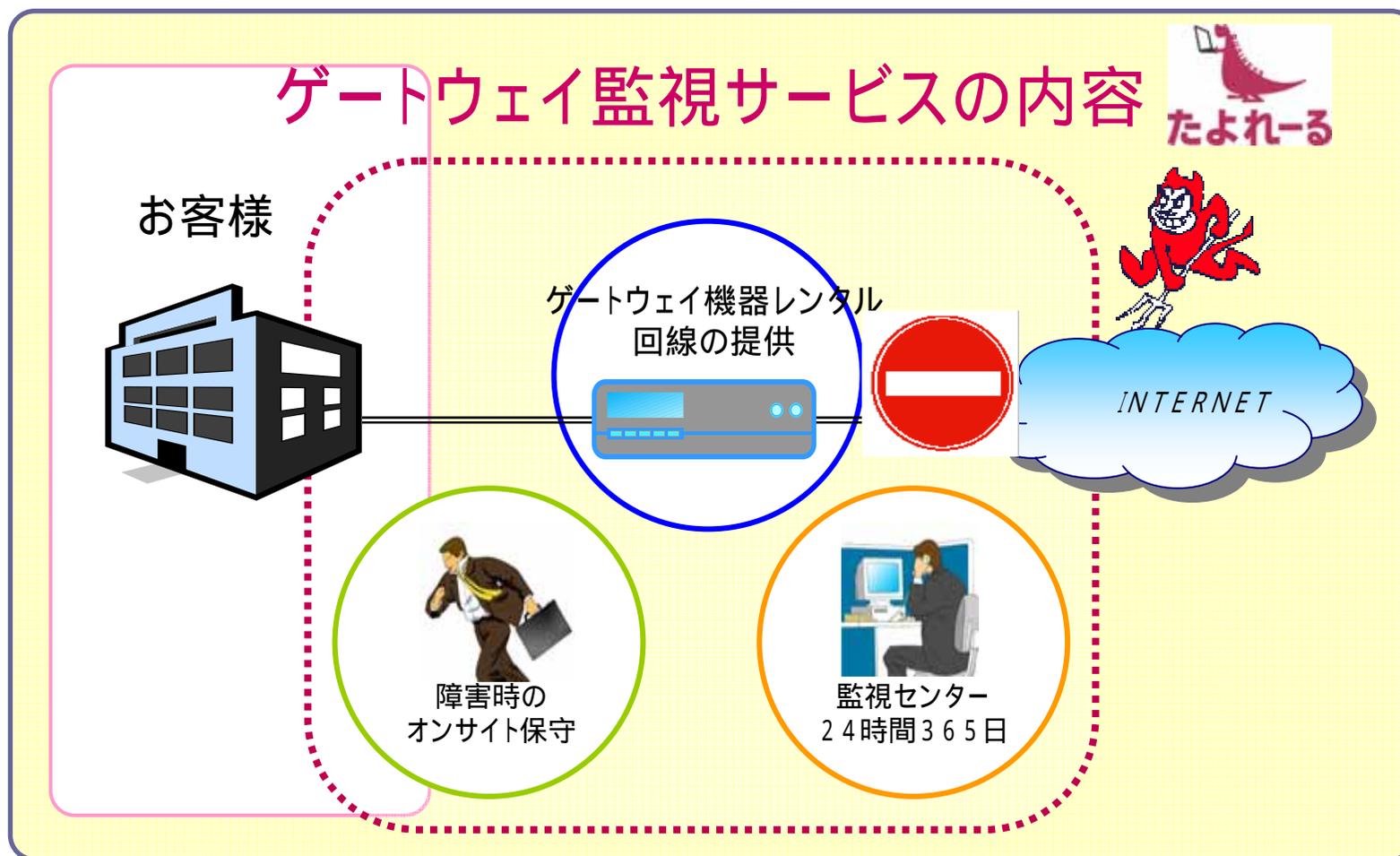


BPO 振込代行サービス

サービスご利用イメージ

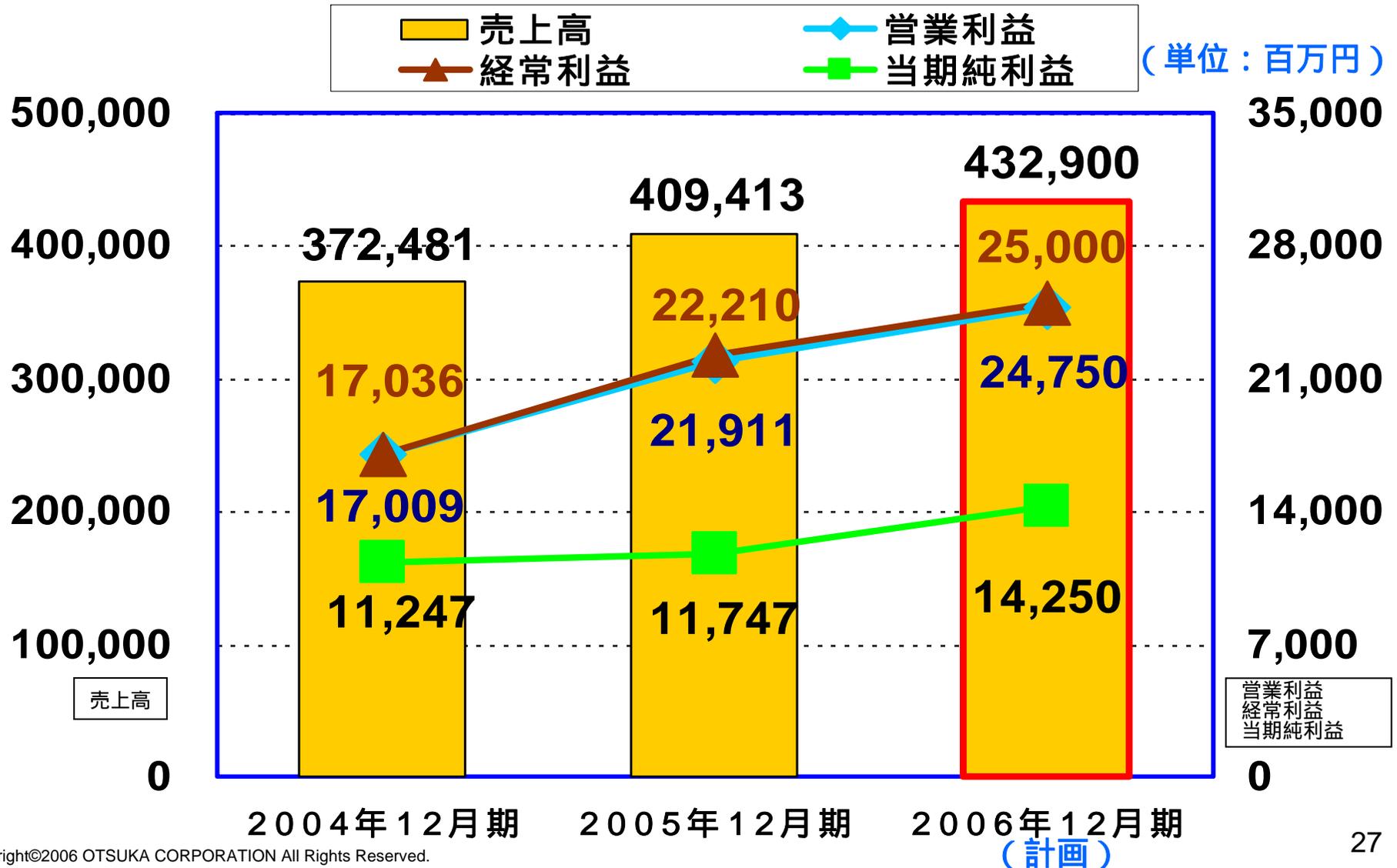


BPO ゲートウェイ監視サービス



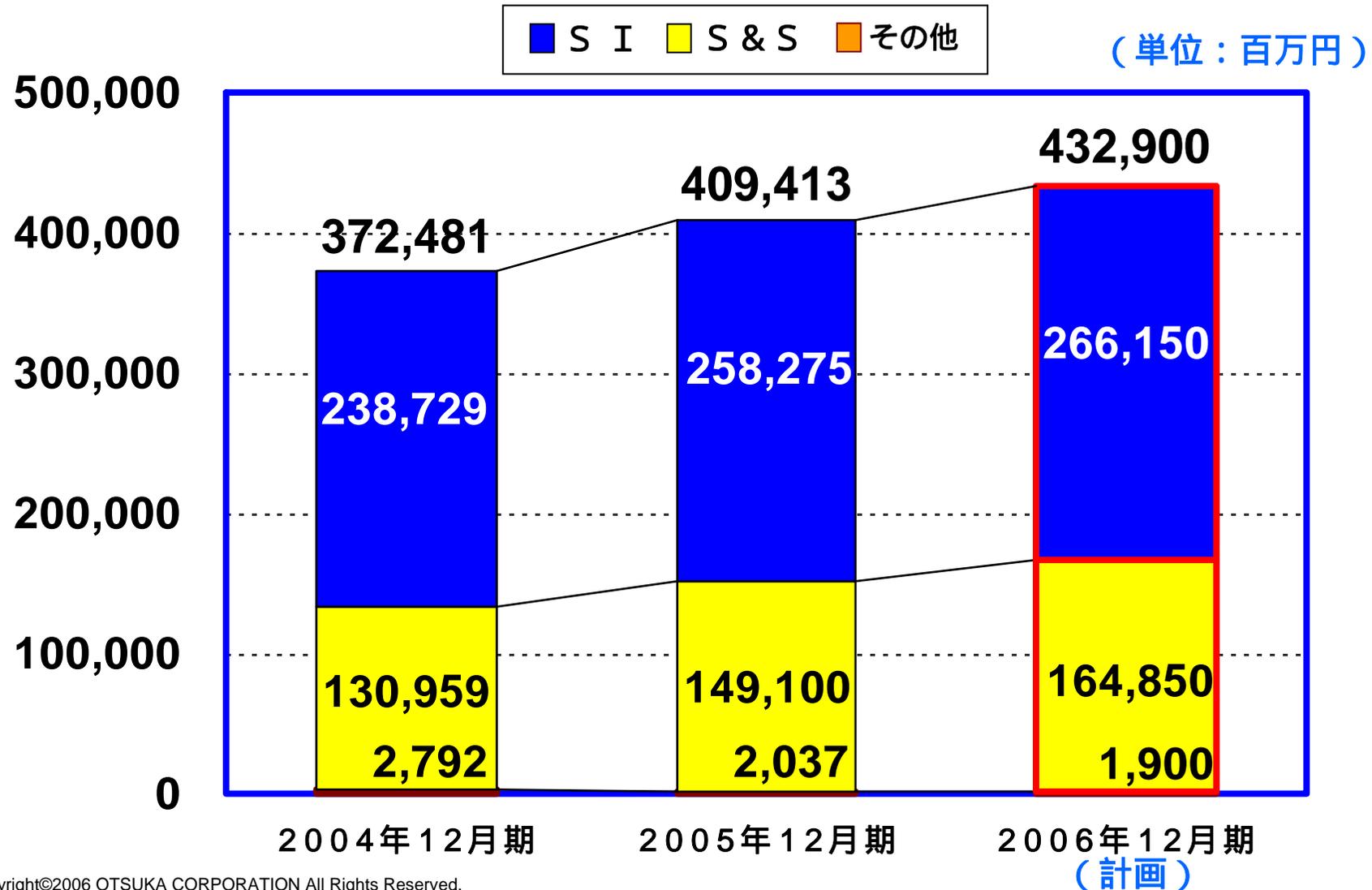
連結

売上高・利益の計画



連結

セグメント別売上高計画



単体

重点戦略事業の計画

< 売上高 >

(単位：百万円)

	2004年 12月期	2005年 12月期		2006年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率	金額	増減率
MRO	52,374	63,618	+21.5%	75,000	+17.9%
SMILE (ソフト+保守)	11,772	14,112	+19.9%	15,600	+10.5%
ODS 2 1	25,429	33,068	+30.0%	39,700	+20.1%
OSM	9,900	19,106	+93.0%	30,000	+57.0%

< 販売台数 >

(単位：台)

複写機	29,583	30,026	+1.5%	30,500	+1.6%
(内カラー複写機)	14,775	16,395	+11.0%	18,200	+11.0%
サーバ	25,941	33,477	+29.1%	35,500	+6.0%
パソコン	439,184	552,587	+25.8%	576,000	+4.2%

社 会

お 客 様

信 頼 に 応 え る

株 主 様
取 引 先 様

従 業 員

本資料についてのご注意

- 1 . 本資料は、2006年12月期中間の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 2 . 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 3 . 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
- 4 . 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。